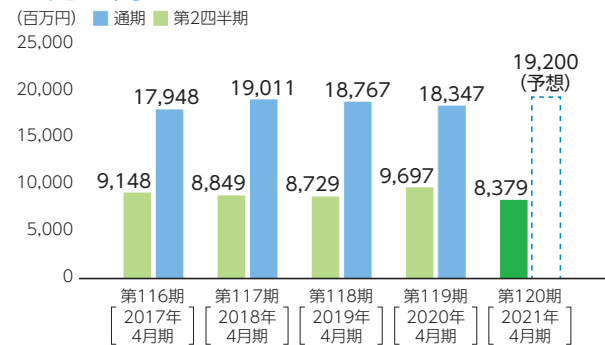
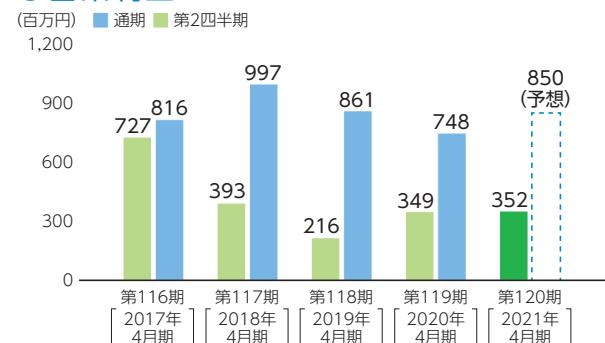


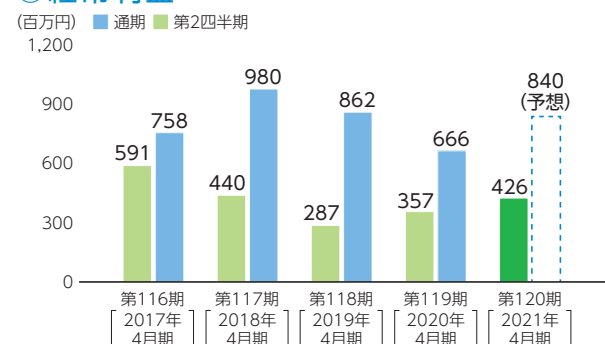
売上高



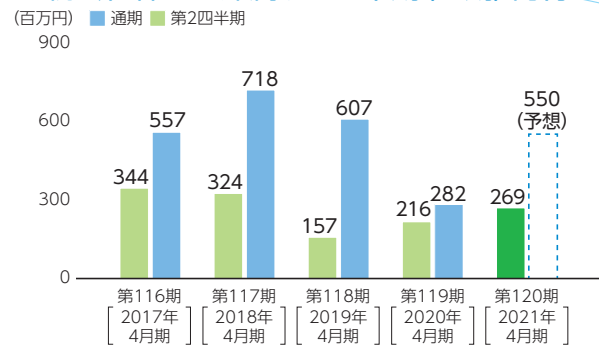
営業利益



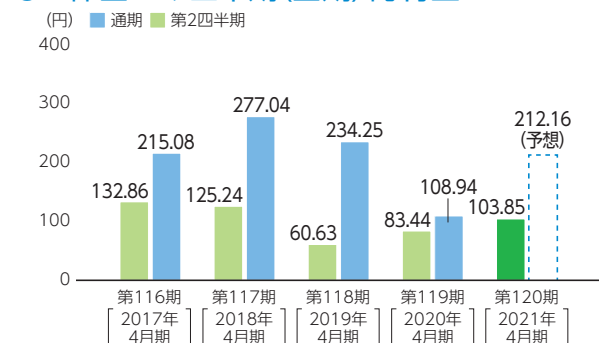
経常利益



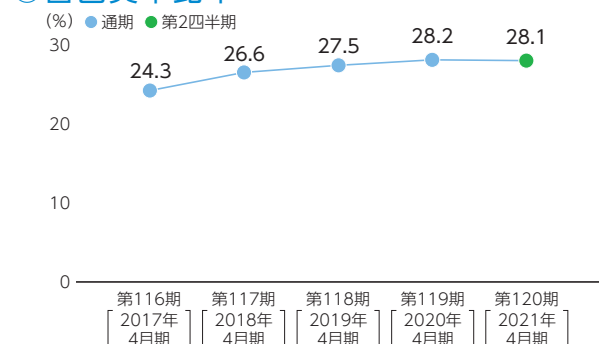
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



自己資本比率



会社概要

(2020年10月31日現在)

設立 1910年(明治43年)8月
 資本金 1,378百万円
 従業員数 282名(連結921名)
 東京本社 東京都港区新橋二丁目20番15-701号
 福山本社 広島県福山市一文字町14番14号
 工場 函館・福山
 事業所等 札幌・網走・函館・石巻・東京・高岡・福山・九州・紋別・釧路・八戸・いわき

取締役及び監査役

(2020年10月31日現在)

代表取締役社長	小林宏明
代表取締役専務	山本節夫
専務取締役	高吉良
常務取締役	小重清
取締役	西北郷方
取締役	野村芳
取締役	岡之原耕一
取締役	杉原祥訓
常勤監査役	小柴和隆
常勤監査役	杉立佐藤
監査役	佐藤卓己

主要グループ会社

(2020年10月31日現在)

【国内】
 多久製網株式会社 有限会社吉田漁業部
 株式会社泰東 株式会社温泉津定置
 日東ネット株式会社 株式会社庄司政吉商店
 日本ターニング株式会社 ヤマグチ株式会社
 CNK株式会社

【海外】
 レデス・ニットー・チリ・リミターダ(チリ)
 タイ・ニットウセイモウ・グローバルCo.,Ltd.(タイ)

株式の状況

(2020年10月31日現在)

発行可能株式総数 6,400,000株
 発行済株式の総数 2,605,000株
 株主数 3,770名

株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで
 定時株主総会 毎年7月下旬
 基準日 定時株主総会・期末配当：毎年4月30日
 中間配当：毎年10月31日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日。
 株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 【郵便物送付先】 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
 【電話照会先】 0120-782-031(フリーダイヤル)
 公告方法 電子公告
 <公告掲載URL>
<http://www.nittoseimo.co.jp/>
 但し、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 上場証券取引所 東京、名古屋

第120期 中間報告書

2020年5月1日から2020年10月31日まで

環境の変化に対応し、社会のニーズに応える製品・サービスの提供に努めていきます。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに、当社第120期第2四半期連結累計期間(2020年5月1日から2020年10月31日まで)の概況等につきましてご報告申し上げます。

2021年1月

代表取締役社長 **小林宏明**

Q1 当第2四半期の市場環境と業績はいかがでしたか?

当社グループ主力ユーザーの水産業界におきましては、海洋環境や気象状況の変動による漁獲量の減少や外出自粛の影響で外食産業向けの高級魚・水産物などの需要が減少していることに加え、漁船漁業者の一部は海外への出航ができない状況が続いており、漁業従事者の経営環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、漁業関連事業では、本来前期に納品予定であった繰越分が計上されたことや新リース事業等の手続きが順調に進んだ定置網部門は堅調

でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、旋網部門や水産部門、養殖網部門等の売上高が大きく減少しました。陸上関連事業では、コロナ対策で室内換気の必要性から防虫網部門が伸び、獣害防止ネットや落石防止ネット等の災害対策用途の陸上用ネットの販売は好調だったものの、全体としては前年同期と比べ減少しました。営業利益は、売上高が伸び悩む中でも、主力の定置網部門の売上高が好調だったことと、計画的な生産を継続したことで製造原価を抑えることができたこと等により、前年同期並みを維持できました。

また、営業外収益では受取保険金、保証債務費用戻入額等の計上があり、営業外費用で持分法による投資損失等の計上がありました。営業外損益はプラスとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,379百万円(前年同期比13.6%減)、営業利益は352百万円(前年同期比1.1%増)、経常利益は426百万円(前年同期比19.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は269百万円(前年同期比24.5%増)となりました。

Q2 通期の課題と対応、業績予想をお聞かせください。

昨年12月に福山本社の新事業所の建設計画の概要が決まり、今後着実に準備を進めてまいります。大規模な

投資となりますが、長期にわたり事業の効率化が図れる事業所を目指しております。

業績面につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の今後の状況にもよりますが、第4四半期が当社グループの売上高が最も多くなる時期で、現時点では以下の見通しです。

漁業関連事業につきましては、前期に納品予定であった繰越分や新型コロナウイルス感染症拡大の影響で停滞気味であった旋網部門等の受注に動きがでてきており、下半期以降は、需要拡大を見込んでおります。また、オリジナル商材の販売を積極的に行いお客様のニーズへのクイックレスポンスを心掛け、売上高、収益の確保・拡大を図ってまいります。

陸上関連事業につきましては、獣害防止ネットは、引き続き安定した受注を見込んでおります。また、同事業の主力商品である防災関連の落石防止ネット、スポーツネット、遊具関連ネット等を中心に積極的に拡販してまいります。

2021年4月期の通期業績につきましては、売上高19,200百万円、営業利益850百万円、経常利益840百万円、親会社株主に帰属する当期純利益550百万円を見込んでおります。配当につきましては、第120期の期末配当金として1株当たり50円を予定しております。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

漁業関連事業

6,765百万円 (80.75%)

売上高は6,765百万円(前年同期比17.3%減)となりました。主力の定置網部門の売上高は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で海外向けの商談が停滞し、旋網部門の売上高が減少しました。また、外食産業向けの高級魚の需要の減少などから水産部門、養殖網部門の売上高も減少しました。利益面は、売上高は減少しましたが、主力の定置網部門の売上高が好調だったことで、セグメント利益は348百万円(前年同期比11.5%増)となりました。

事業紹介



旋網



海苔網

定置網をはじめ、旋網、曳網、養殖網、海苔網など、漁業に欠かせない製品を数多く提供しております。また、漁網の設置や漁場調査、漁場に適した網の設計、仕立といったソフト面のサポートも充実しております。さらには、漁獲された魚の販売や販売先の紹介など、漁労の現場に即した



ロープ

事業展開を心がけております。これからも蓄積した技術に加え、新しい技術を積極的に生かして、お客様のご要望に対応してまいります。

その他
6百万円
(0.08%)

陸上関連事業

1,606百万円 (19.17%)

売上高は1,606百万円(前年同期比5.8%増)となりました。主な要因は施工工事部門の売上高は低調でしたが、防虫網や獣害防止ネットの受注が好調で売上高は増加しました。利益面は、施工工事部門の売上高が減少したこと、防虫網部門の事業強化を図り人件費等のコストが増加したことでセグメント利益は4百万円(前年同期比88.0%減)となりました。

事業紹介

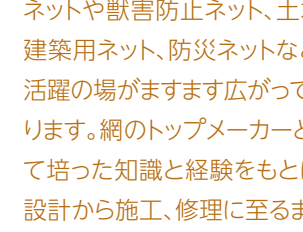


獣害防止ネット



防球ネット

ご家庭の網戸や各種スポーツネット、建設現場から農業用途に至るまで、さまざまなシーンでご利用いただける製品を提供しております。中でも、防虫網は独自に開発した高耐候・高強度のポリオレフィン原糸を使用しております。焼却しても有毒ガスを排出せず、環境に優しい素材です。このほか、防球



遊具ネット

第120期
〔2021年
4月期〕
第2四半期
売上高構成